

## 年度評価シート

課名 観光・国際交流課

施設の名称 静岡市東海道広重美術館	指定管理者名 特定非営利活動法人へキサプロジェクト
<p>1 履行状況</p> <p>業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されている。</p> <p>(1) 維持管理業務</p> <p>施設内の清掃、建築設備点検、備品管理等を日常的に実施し、必要な場合は、その一部を専門的な知識と技術を有する第三者に委託して実施。修繕が必要な場合は、本市との協議のもと適宜対応した。また、美観の維持のための清掃業務や駐車場施設の日常点検等職員によって着実に実施された。施設の安全の確保及び収蔵する美術作品の管理について、善良な注意義務をもって適切に維持管理を行った。</p> <p>(2) 施設利用者数</p> <p>平成30年度の入館者数は25,578人で、目標数値34,000人に対して、達成率75.2%であった（平成29年度は、入館者数27,466人、目標数値32,000人、達成率85.8%）。</p> <p>平成30年度は、平成29年度に対して利用者数が▲1,888人（対前年度比 93%）であり、前年度割れという結果であった。桜エビの春漁の不漁、秋漁の中止に加え、夏季の猛暑や台風等の要因もあり、特に70代の来館者が6,717人（H29）から3,543（H30）と▲3,174人と大幅に減少している。</p> <p>一方で、小・中・高生の利用は地道な学校等への広報活動の結果増加傾向であり、また50代の利用者も約1,000人増加している。また、清水港寄港客船の増加で外国人来館者数も増加しており、天候等の影響を受け難い部分においては、指定管理者の啓発活動や企画展の充実などの効果として評価できる内容である。</p> <p>(3) 事業実施状況</p> <p>展覧会及び各種関連事業については、事業計画書に沿って実施されている。平成30年度は、5回の展覧会事業を開催した。</p> <p>5回の展覧会は、入場者の目標値を下回っているものの、いずれも入館者数は3千人を超えている。収蔵品の揃物を中心とし、開催時期やターゲットに合わせた展覧会の企画や、テーマに合わせた特別パネルを作成することでより深く展示内容を理解できるよう展示の仕方を工夫するなど、質の高い事業の展開ができています。また、展示解説には英語表記をし、外国人の入館者への対応も十分に行えている。</p> <p>展覧会の内容と入場者数は以下のとおり</p> <p>ア LADY GO! AIKO×江戸ガールズコレクション（入場者数6,585人、目標8,500人）</p> <p>イ 出張日本平動物園 うきよえ動物観（入場者数3,427人、目標6,500人） 同時開催：絵で解くなぞなぞ判じ絵の世界</p> <p>ウ 広重没後160年記念 めいしょ広重（入場者数8,871人、目標10,000人） 同時開催：しずおか二峠六宿</p> <p>エ 静岡市・由比町合併10周年記念行事 城たび！-お城で旅する東海道-（入場者数3,055人、目標4,500人）</p>	

オ 江戸のそら - 広重の浮世絵に見る気候表現 - (入場者数3,640人、目標4,500人)

同時開催：職人わざ - 浮世絵を支える彫と摺り -

また、小学生団体向けに学芸員による展示作品解説、浮世絵刷り版画体験等をプログラムとしている教育普及事業「スクールプログラム」や、「出張講座」を実施し、浮世絵や版画の魅力の普及活動にも努めているといえる

スクールプログラム：22校 1,088人 (平成29年度24校931名)

出張講座：7件 469人 (平成29年度6件241名)

(一般向けは除く。)

清水港に寄港する客船等の利用者を取り込めるよう、英語表記のチラシを用意したり、美術館のパンフレットを日英併記化したり、外国人の入館者に対する受入体制を整える努力も窺える。

## 2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

利用者からの意見・要望に対しては、概ね適切に対応し、即時の対応が困難である要望に対しても前向きに対応・検討するなど、良好な対応がなされているといえる。具体的な意見・要望と対応状況は、下記のとおりである。

(1) 意見：館内で大きな声でしゃべる人がいる。

対応：館内掲示や個別に注意喚起を実施。場合により旅行会社にも協力を仰ぐ。

(2) 意見：ガイドシステムの内容拡充、反応が遅い。

対応：より楽しんでいただけるガイドシステムにするべく内容を検討。

反応の悪さについては、iPad機器の交換により改善。

(3) 意見：展示室の照度を上げる。LED化の希望。

対応：作品保護のため、照度を落としていることの説明やキャプションの文字や配置位置工夫などによって対応している。根本解決のためには照明のLED化を検討する。

## 3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 利用者満足度調査

展覧会ごと、施設入館者に対して、館内に設置した投書形式の利用者満足度調査を行った結果、展覧会の内容及びその他常設展について、「とてもよかった」、「よかった」と回答した割合が73.4%と満足度目標80%を若干下回っており、今後、更なる内容の充実に期待したい。

企画展満足度：80.6%

常設展：64.8%

(2) 市民アンケート

当課所管4施設（静岡市三保真崎グラウンドゴルフ場、静岡市由比本陣施設、静岡市東海道広重美術館、静岡市清水港船宿記念館）で実施しているアンケート調査によると、施設の認知度48.8%と昨年度を上回った（平成29年度は、認知度47.6%）。指定管理者には、平成31年度についても、認知度向上及び集客への取り組みについて大いに期待したい。

## 4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務の収支状況については、おおむね予算のとおりにより執行されており良好である。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）	
前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。